内閣府

令和８年１１月６日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

那覇空港周辺で訪日外国人レンタカーの交通安全対策を実施します

～関係機関が連携して訪日外国人レンタカーの交通事故抑制対策を実施～

那覇空港周辺地域では、訪日外国人レンタカーの交通安全対策として、那覇空港周辺のレンタカー事業者集積地域から豊見城・名嘉地ＩＣや久茂地交差点までの主要な移動経路において、関係機関が連携して路面標示・注意喚起看板設置等を実施します。

〇那覇空港周辺における訪日外国人レンタカーの行動をプローブデータにより分析した結果、主要な移動経路として、国道３３１号及び国道５８号等を選定しました。

〇このうち、レンタカー事業者集積地域近傍の国道３３１号において左側通行への注意を促す注意喚起看板の設置、主な最初の右折交差点においてドライバーを安全に誘導するための右折動線を示す路面標示の設置などを、令和８年１１月より順次進めます。

〇また、沖縄県警察、沖縄総合事務局運輸部、沖縄県レンタカー協会などの関係機関と連携し、日本の交通ルールを周知する注意喚起チラシの配布など、訪日外国人レンタカーの交通安全対策を総合的に推進します。

〇さらに、産学官の関係機関が連携し、それぞれが保有するデータを共有・活用し、交通安全対策などの取組を進めている「沖縄ゆいまーるプロジェクト」の取組の一環として、交通事故につながりやすい挙動が多く発生している地点や那覇空港周辺において、車載マルチメディアの画面表示及び音声通知によるドライバーへの注意喚起を行います。

【添付資料】

別紙１　訪日外国人レンタカーの交通安全対策の概要

別紙２　関係機関の取組（沖縄県警察、沖縄総合事務局運輸部、沖縄県レンタカー協会）

別紙３　関係機関の取組（沖縄ゆいまーるプロジェクト）

【お問い合わせ先】

内閣府　沖縄総合事務局　開発建設部　道路管理課　課長　森山　正三（内線４４１１）

開発建設部　道路管理課　課長補佐　玉城　学　（内線４４１２）

ＴＥＬ：０９８－８６６－１９１５（直通）

沖縄総合事務局開発建設部ホームページ https://www.ogb.go.jp/kaiken/

【別紙１】訪日外国人レンタカーの交通安全対策の概要

○ 那覇空港周辺における訪日外国人レンタカーの行動をプローブデータにより分析した結果、主要な移動経路として、国道３３１号及び国道５８号等を選定。
○ 主要な移動経路において、出発直後の道路に左側通行への注意を促す看板や路面標示を設置するほか、交差点での右折動線を示す路面標示、豊見城・名嘉地ＩＣへの進入経路を案内する看板設置の交通安全対策を道路管理者（国）が実施。

▼対策箇所図



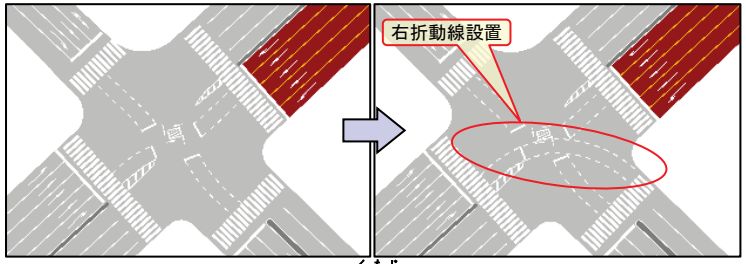
▼対策メニュー

①出発直後
左側通行への注意を促す看板や路面標示を設置



沖縄県豊見城市（豊崎交差点付近）

②右折交差点
右折後の対向車線への誤進入を抑制する右折動線を設置



沖縄県那覇市（久茂地交差点）

③その他対策
高速道路ＩＣへの進入経路を案内する看板を設置



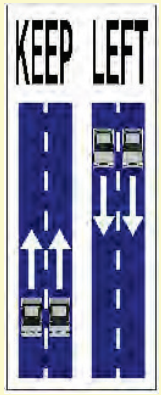
沖縄県豊見城市（豊見城・名嘉地IC交差点）

【別紙２】関係機関の取組（沖縄県警察、沖縄総合事務局運輸部、沖縄県レンタカー協会等）

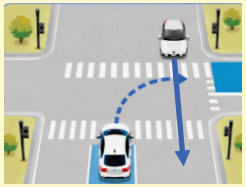
〇主要な移動経路に対する交通安全対策を道路管理者が実施することにあわせ、道路管理者以外の関係機関とも連携して、訪日外国人レンタカーの交通安全対策を総合的に推進。

【沖縄県警察・沖縄総合事務局運輸部・沖縄県レンタカー協会】

県内レンタカー店舗窓口で安全運転の呼びかけチラシを配布



左側通行の徹底



交差点の右折事故防止



「とまれ」標識の理解



・沖縄県警察、沖縄総合事務局運輸部、沖縄県レンタカー協会が、外国人が戸惑いがちな、「左側通行」と「とまれ」標識の理解の徹底を目的として、日本の交通ルールの理解促進と安全運転を呼びかけるチラシを作成

・沖縄県レンタカー協会に加盟する会員事業者が、県内の各店舗において、レンタカー貸渡時にチラシを配布する。

外国人が運転していることの周囲への周知

・沖縄県レンタカー協会に加盟する会員事業者が、外国人にレンタカーを貸し出す際、「外国人の方が運転しています」と記載したマグネットを車両に貼付する取組を推進



出典：沖縄県レンタカー協会

【別紙３】関係機関の取組（沖縄ゆいまーるプロジェクト）

〇沖縄ゆいまーるプロジェクトは、沖縄県警察、トヨタ・モビリティ基金をはじめとする産学官の関係機関が連携し、それぞれが保有するデータを共有・活用し対策を実施することで、交通事故削減などの地域課題の解決を図る取組。
〇訪日外国人レンタカーの交通安全対策として、訪日外国人レンタカー利用者が危険箇所に接近した際に、車載マルチメディアの画面表示や音声通知により注意喚起する取組を実施予定。

【沖縄ゆいまーるプロジェクトの概要】

［目的］
・交通事故の削減や観光の振興・渋滞緩和などの地域課題の解決

［取組］
・産学官の多様な関係機関のデータを融合し、危険箇所の特定、事故原因の究明、対策の立案、対策効果の検証など事故の未然防止に向けた対策等を推進

［参加者］
・トヨタ・モビリティ基金、沖縄トヨタグループ、東京海上日動、沖縄県警察、琉球大学、JTB、TOYOTA、沖縄総合事務局、東京大学大学院

※沖縄のことばで、「ゆい」は「一緒に」、「まーる」は「取り組む・助け合う」といった意味を持つことから、関係機関が一緒に取組、助け合う理念を込め、「沖縄ゆいまーるプロジェクト」と命名。

TOYOTA mobility FOUNDATION
沖縄にとってかけがえのない会社へ。 沖縄トヨタグループ
沖縄トヨタ自動車 トヨタレンタリース沖縄 OTM
JTB 感動のそばに、いつも。
東京海上日動
沖縄ゆいまーるプロジェクト
TOYOTA
OKINAWA PREFECTURAL POLICE 沖縄県警察
内閣府 沖縄総合事務局
琉球大学 University of the Ryukyus
東京大学大学院 工学系研究科

【訪日外国人レンタカーの交通安全対策の取組】

・警察や損害保険の事故データ、レンタカー事業者や道路管理者が保有する移動経路や急挙動発生箇所等のデータを活用して危険箇所を抽出し、訪日外国人レンタカー利用者が危険箇所に接近した際に、車載マルチメディアの画面表示や音声通知により注意喚起する取組を実施予定

データの活用



車載マルチメディアからの注意喚起の例



*画面はイメージで、実際のものとは異なります。

出典：「沖縄ゆいまーるプロジェクトこれまでの取組」HP記事より抜粋
https://toyotamobilityfoundation.jp/news/0208